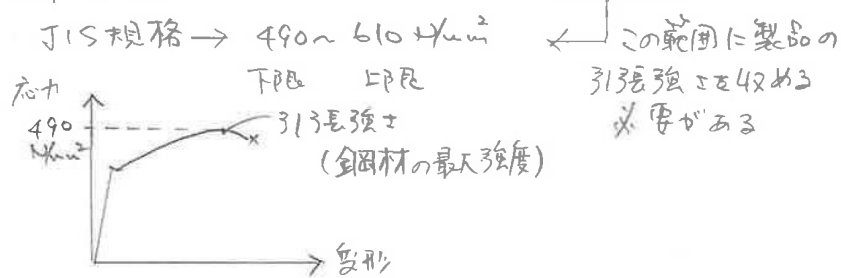


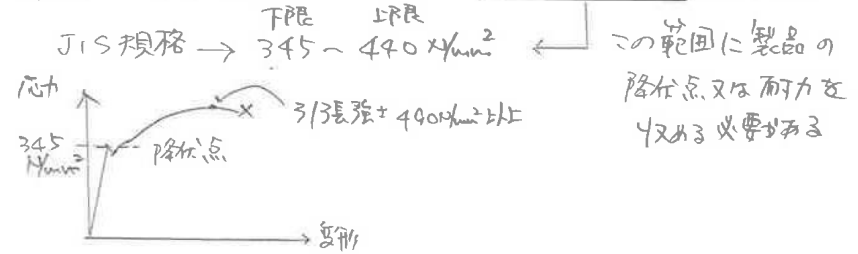
# 平成27年NO29 鋼材及び高カポット

1. 建築構造用圧延鋼材 SN490B の引張強さの下限値 →  $490 \text{ N/mm}^2$
2. 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 の降伏点又は耐力の下限値 →  $345 \text{ N/mm}^2$
3. 降伏点  $240 \text{ N/mm}^2$ 、引張強さ  $400 \text{ N/mm}^2$  である鋼材の降伏比 →  $0.6$
4. 高カポット F10T の引張強さの下限値 →  $1,000 \text{ N/mm}^2$

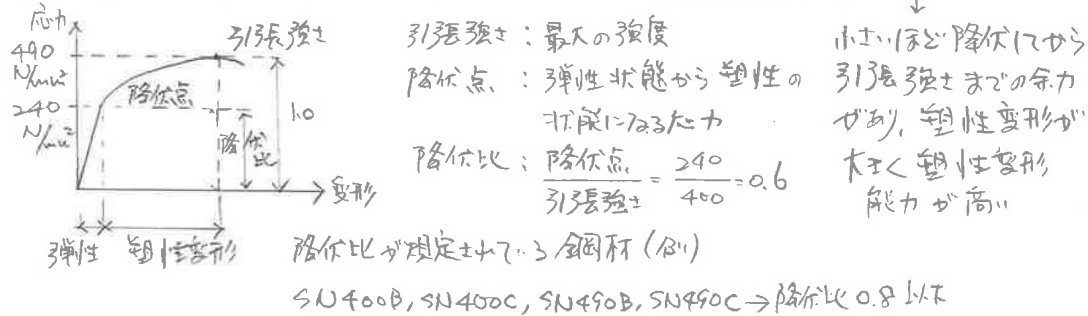
○ 建築構造用圧延鋼材 SN490B の引張強さの下限値



○ 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 の降伏点又は耐力の下限値



○ 降伏点  $240 \text{ N/mm}^2$ 、引張強さ  $400 \text{ N/mm}^2$  である鋼材の降伏比



○ 高カポット F10T の引張強さの下限値

